**テーマ「第25期指定民児協　活動概要の紹介」**

●川口市

鳩ヶ谷第２地区民生委員児童委員協議会　会長　𠮷田　好子

写真「会長写真」を挿入

＜地区の概況＞

【人口】２5，836人（R6.1.1 現在）

【世帯数】１2，693世帯（R6.1.1 現在）

【地区の特徴】

川口市の中央に位置し、日光御成道国道122号線沿いに古くから発展した街並みと、区画整理が進行している住宅街が混在している。また、埼玉高速鉄道の開通により、首都圏への通勤・通学の利便性が高い生活環境である。

【単位民児協の構成】

民生委員・児童委員　31名

主任児童委員　２名

**重点取り組み紹介「ぽっぽふぁ～む」**

**ぽっぽふぁ～むの概要**

「ぽっぽふぁ～む」は、川口市鳩ヶ谷地区社会福祉協議会が主催し、民生委員児童委員と地域福祉推進員が協力する、地域の居場所づくり事業です。令和５年８月から毎月２回、高齢者施設ベルホームを拠点に開催されています。

**開催の経緯**

コロナ禍で従来の「ふれあい広場」の開催が困難となる中、地域の方々が安心して集まれる場所を提供するために始まりました。令和３年度には災害時炊き出し訓練や世代間交流事業を試験的に実施し、その成果を踏まえて定期的な活動として「ぽっぽふぁ～む」が誕生しました。

**活動内容**

写真「ぽっぽふぁ～む①②③④」を挿入

**1. 畑の手入れと収穫**  
参加者が協力して畑の手入れを行い、収穫した野菜を分け合います。この活動を通じて、農作業の楽しさや収穫の喜びを共有しています。

**2. お昼ごはんづくり**  
参加者が一緒に料理をし、食事を楽しみます。料理の過程でお互いにコミュニケーションを取り、食事の時間を共有することで絆を深めています。

**3. 世代間交流**  
「ぽっぽふぁ～む」は、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加する場となっています。農作業や料理を通じて自然な形で世代間交流が行われ、お互いの理解と連携が深まっています。

**4. 支え合いの場**

参加者がそれぞれの得意なこと（農作業や料理）を活かしながら活動に参加することで、支える側と支えられる側に分かれることなく、お互い様の関係を築いています。

**成果と意義**

「ぽっぽふぁ～む」は地域で孤立している方や不登校児童、引きこもりの方々の居場所となっています。この取り組みにより、地域の誰もが孤立せず、互いに支え合う環境が整っています。参加者はそれぞれの得意なこと（農作業や料理）を活かしながら活動に参加し、コミュニケーションを深める場として機能しています。

**今後の抱負**

鳩ヶ谷第2地区民児協としては、「ぽっぽふぁ～む」の活動に引き続き協力し、地域住民が安心して集える場所を提供し続けることを目指しています。今後も地域行事や学校行事への参加、世代間交流の推進を通じて、地域全体のつながりを強化し、「共に生き・共に支え合う」地域づくりに貢献していきます。